

シリーズ：介護事業所の舞台裏 第12回「満足求めて」



6月中旬より「ゆたかなビレッジ」ご利用者様へアンケート調査を実施させていただきました。これまで個々のサービスについてアンケートを実施したことはありましたが、全サービスについての実施は初めてとなります。この貴重なご意見をご利用者様への「満足」へ変換することがわたしたちの目的となります。日々ご利用される皆様には「ありがとう」「助かったよ」「ご苦労さま」といった温かい言葉をいただく。本当に介護士にとって「元気」になれる瞬間になる。ただご利用者様は本当に元気になっているだろうか？以前と比べて体調、体力は落ちていないだろうか？年齢のせいにして、そのままにはいけないのでは？その疑問から、2年前より「自立支援介護」(自力を支援する介護)を学び始めました。このシリーズ介護現場の舞台裏でもお伝えしましたが、週1回、3時間の研修を2年実施しました。現在も進化した研修をスタッフの高橋をリーダーにして継続している。「ありがとう」「ご苦労さま」のもと先にある、ご利用者様の「満足した」顔、言葉を目指しているのだ。本当の満足とは、ご利用者様のご自宅に関わる生活で、自分の足で歩き、食事、トイレ、趣味の時間を含めて、日々の生活を自分の五感でじっくりと味わえることではないかと私たちは考えてます。要介護という心身の状況の中で、あれこれと希望を膨らませることは困難であるでしょう。ここで我々介護士にできることは「介護・ケアで元気になっていただく」こと。また歩行できたり、トイレへ行けたり、食事をつくり、食べることができたり、ご利用者様の生活を一部でも「できるようになる」ことが私たちのお仕事であると考えています。この「元気になることを信じて、一人一人一つ一つ丁寧にケアに集中して参ります。どうぞこれからの「ゆたかなビレッジ」にご期待ください。がんばります。またご支援ご指導よろしくお願いたします。

事業所の話題ご紹介

「小規模多機能型居宅介護ゆたかなビレッジ 横浜」より ★ホームページにて「スタッフ紹介始めました」

管理者：「さてインタビューするわよ」
スタッフ：「はい 喜んで」
管理者：「心の準備はいいわね」
スタッフ：「緊張しますが、笑いが大切ですので・・・笑顔でがんばります。」
管理者：「そうね、今、小規模横浜で売り出し中だからね、がんばって」
スタッフ：「はい」
このインタビューの様子は「ゆたかなビレッジ公式ホームページにて公開中！」



「小規模多機能型居宅介護ゆたかなビレッジ ポートサイド」より ★「今年の梅干し漬けます！」

管理者：「さあ今年も梅を漬けますよ」
スタッフ：「焼酎で消毒して漬けるんですよ」
管理者：「今年は8キロの梅を漬けるぞ」
スタッフ：「はは8キロですね。」
管理者：「去年より最高の一品をつくりましょう」
スタッフ：「はい、了解しました」
管理者：「よし頑張るぞ」



ポートサイドの梅楽しみにお待ちしております。

ご利用者様、ご家族様へ

今回アンケート調査へご協力いただきありがとうございます。
本当に貴重なご意見いただきました。現在回答いただいた内容について、ひとつひとつ確認させていただいております。本当に心からお礼申し上げます。